

# HOTEL RESTAURANT

2008.4.11

¥1600

特集

## ホテルの賃料動向を探る

本誌は、株式会社オーハタ出版が発行する月刊誌です。本誌は、株式会社オーハタ出版が発行する月刊誌です。

特別企画  
トップインタビュー  
**大阪学院大学経営学部ホスピタリティ経営学科の取り組み**

ザ・ワインザーホテル洞爺リゾート&スパ  
総支配人 堤田美穂氏

[www.ohtapub.co.jp](http://www.ohtapub.co.jp)





「ホテルのかっこよさとか、料理のレベルの高さとともに語りたいが、ここに来れば感性を刺激される、という場所にしていきたいですね」と話る原田大統支配人



# デザインという 「おもてなし」 新コンセプト セレクタブルホテル **HOTEL SCREEN KYOTO** 誕生



カラフルな和傘照明が目を引くエントランス空間。京都らしく茶道具がしつらえてあり、チェックインのお客さまにお茶とお茶菓子を振る舞う。スタッフのユニフォームはなくし、遊び感覚を演出、そしてお客様をお迎えするサイドの距離感を縮めている

セレクタブルホテルという新しいコンセプトを掲げたホテル、「HOTEL SCREEN KYOTO」が、京都・丸太町に昨年末開業した。セレクタブルホテルとは、ゲストに選ぶ楽しみ、迷う楽しみを提供できることを意味し、全13の客室を、国内外13組のデザイナーが手掛けている。京都が持つ伝統・文化と最新のクリエイティブ感覚が融合するデザインが、ゲストをもてなしてくれる。このまったく新しいホテルを紹介する。

(取材・文 本誌 近藤寛和、撮影/沖本明)



和洋折衷の融合が美しいレストラン空間。どこか妖艶(ようえん)な雰囲気を漂わせている。現代京都を表現するところとなるのがもれないと

洋室と和室を組み合わせた101号室。襖(ふすま)絵の舞草(まいれん)があでやか、和室側の襖には相向の胡蝶と月が描かれている。ベッドはシモンズ社製の7.5インチを採用

ラウンジの天井には大きな絵が描かれている。季節の草花で春・夏・秋・冬を表現している

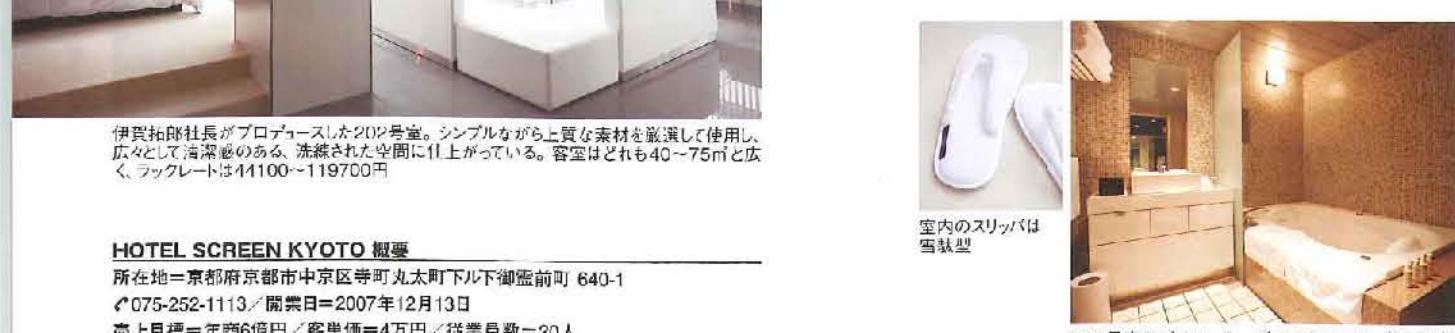
201号室は、朱漆を用いた壁面や大画面プロジェクターなどで、快適さと和が持つ力強さの双方を楽しめる(左、右)



伊賀拓郎社長がプロデュースした201号室。シンプルながら上質な素材を厳選して使用。広々として清潔感のある、洗練された空間に仕上がっている。客室はどれも40~75m²と広く、フックレートは44100~119700円



オーディオ&ビデオは、42インチの薄型テレビやボーズのスピーカーが標準装備されている



室内のスリッパは雪駄型

201号室のバスルーム。バスアメニティは、英国の自然派高級ブランド「REN」を採用

#### HOTEL SCREEN KYOTO 概要

所在地=京都府京都市中京区寺町丸太町下ル下御塩前町 640-1

TEL 075-252-1113 / 開業日=2007年12月13日

売上目標=年商6億円 / 客単価=4万円 / 従業員数=20人

経営・運営=株式会社eager / HP=http://www.hotel-screen.com/

同ホテルを手掛けたのは株式会社eager<sup>®</sup>。株式会社プラン・ドゥ・シー出身の伊賀拓郎社長が5年前に立ち上げたベンチャー企業で、空間デザインや家具デザインを主な事業としており、ホテルの企画・開発、運営は初めて。トータルでライフスタイルをデザインしたいという思いがあつて、今回のプロジェクトが進められた。

同ホテルは、十数年前に建てられたオフィスビルを改装してつくられ、13の客室、レストラン、ラウンジ、パンケットホール、チャペルから構成されている。

スクリーンといふネーミングには、「スクリーニング」つまり、鑑別いいものを選ぶという意味と、「映画のように日常を、非日常にしたい」という思いが込められている。

小ぶりながら、ホテルプロデュースにかかわった人々が、自身のクリエイティブ性と遊び心を思う存分發揮してつくり上げられたデザイナーズホテルである。また、その先進性が評価され、ドイツ・ベルリンに本拠を置く国際的なホテル協会であり、加盟するには高度なデザイン性が認められなければならない「デザインホテルズ」に、関西圏初のホテルとして認定された。

サービスは、「ごゆっくりお過ごしください」ではなく、「どうぞ、お楽しみくださいね」のスタイル。よりアクティブに、ゲストの個性に合わせて好きなようにホテルを楽しんでくださいといふ姿勢だ。新しい感性の提案をする新しいホテルの誕生である。



3. 各部屋に描かれたお茶セット  
4. お茶葉子はホテルの壁にある柳宿の「紫石」をオリジナルデザインで作ってもらった



1. 「HOTEL SCREEN KYOTO」の外観。外観はほとんど手を加えていないという  
2. 大きな暖簾(のれん)がかかるエントランス